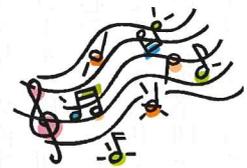




電子メールアドレス : o.fukusi@okinawa-j.jp

 **第 52 号**
 編集・発行
 社会福祉法人
沖縄県社会福祉事業団
 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1
 TEL 098-884-3173 (代)
 FAX 098-882-5688

ホームページ : <http://www.okinawa-j.jp/>



レクダンスについて

ビートの効いたリズムカルな曲。体の動かし方はゆっくりしているが不思議と曲に合っている。初めて観たレクダンスの光景である。動きも上半身運動から始まり下半身運動へと移行してテンポも徐々に速くなっていく。そして終了する頃には利用者、職員共に心地よい汗が額に滲んでいて体が軽くなっている感じを受ける。

思えば2年ほど前にレクダンス講師が介護の現場実習を行っている際に、職員からの希望で利用者を交えて体験したことが事の始まりであった。最初は、戸惑っていた利用者たちも曲が進むにつれ体が自然に動き出し笑顔になっていった。そして講師の絶妙な間の取り方、目配り、声の強弱などで利用者を惹きつけて自然に皆がダンスの輪に入っている。プロだなと感服させられた。そして私自身、高齢者には民謡がベストだと思っていた考えが変わった。

今現在は月2回、介護と養護でレクダンスが行われている。専門的なりハビリも重要だが、遊びリレーション的な運動で施設の生活にアクションをつけ彩りができ、表情が豊かになることの大切さを今後も大事にしていきたい。

特養・養護老人ホーム 八重山厚生園 介護員 あらい 新井 かつり 克紀

施設長就任あいさつ



身体障害者療護施設 都屋の里
園長 大城 正明

この度四月一日付けで園長に就任致しました。平成十八年三月以来今回で三回目の赴任となります。東シナ海が一望できる住環境は以前と変わらず、すばらしい環境であり安心しました。

さて事業団が平成十八年度から自主経営となり又障害者自立支援法が施行されて三年が経過し、見直し時期と新事業体系サービスに移行しようとしている大事な時期に、赴任することとなり職責の重大さを感じます。

自主経営後の経営意識を振り返って見ますと、職員の経営に対するコストの認識・リスクマネージメント・利用者へのサービスの質の向上等に対する諸問題は、自主経営前と後ではどう変わったのか、今一度検証してみる必要があるのではないのでしょうか。まだまだ職員の認識が甘いように思われます。

このように日々変革する社会福祉諸制度ですが、利用者支援サービスの為に職員全員が一致協力し、都屋の里諸先輩方が築いたよい伝統を引き継ぎ、現在にマッチした利用者が安全・安心で快適な園生活が送れますよう取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



養護・特養老人ホーム 具志川厚生園
園長 比嘉 憲次

この四月に具志川厚生園長に就任いたしました。早々、経営対策監会議へ参加し温かい洗礼を受け、これまでと違う視点で施設経営を担う重責を痛感しています。

これからは、事業団がどのようにして選ばれる施設を目指していくのかが問われています。利用者本位のサービスを基本理念として実現する為に、施設利用者の生活と福祉の向上に努めていきますので宜しくお願いします。

また、毎日同じような仕事を続けていると単調になり、つい油断してしまふ場合があります。しかし、人が人を介護する現場では、重大な事故に繋がります。我々は常に安全確認を唱えて足元を見つめ直すことが必要だと考えています。施設利用者にとって安全で安心できるサービスの提供こそが不可欠です。職員共々に明るく、楽しい、夢のある事業団を目指して邁進していきますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻とご協力をお願い致します。

【平成二十一年度 事業計画(主要事業等)】

平成二十一年度は沖縄県社会福祉事業団経営計画二年目にあたり、経営計画推進プログラムに基づいて経営理念である「利用者本位のサービスの質の向上」と「経営基盤の強化」さらに「地域貢献」に取り組みでまいります。

経営方針

- 一、利用者の人権を尊重し、安全・安心・快適なサービスの提供に努めます。
- 二、経営改革の視点と意欲を持ち、透明性が確保され、効率的でバランスのとれた健全な経営に努めます。
- 三、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域との共生・協働につとめ、地域に密着した福祉事業を展開します。

経営目標

- 《経営目標達成に向けて取り組み事項》
- 一、サービスの質の向上(信頼と安心のサービスを目指して)
 - 二、職員倫理綱領の周知徹底
 - 三、苦情解決システムの実効性ある運用
 - 四、サービス評価の取り組み
 - 五、リスクマネージメント体制の構築
 - 六、法人の組織強化
 - 七、法人の組織強化(実効性のある組織を確立)
 - 八、新規事業における人事登用の確立
 - 九、正規・非正規職員の多様な人材活用
 - 一〇、法人組織の整備
 - 一一、本部事務局の機能強化
 - 一二、組織及び職員配置の弾力的対応
 - 一三、職員の資質の向上と職場の活性化
 - 一四、職員の経営意識の高揚
 - 一五、職員提案制度
 - 一六、広報活動の推進と関係機関との連携
 - 一七、施設機能の地域開放
 - 一八、関係機関との連携強化
 - 一九、予算策定

ISO9001 認証取得への取り組み

去った四月十三日に沖繩療育園の会議室において、理事長をはじめ事務局及び沖繩療育園の職員が参加して、ISO9001 認証取得に向けてのキックオフ大会が開催されました。参加者は来年三月の認証取得に向けての決意を新たにしました。

ISOとは、スイスのジュネーブに本部を置く国際標準化機構のことであり、ISO9001は「品質マネジメントシステム」として組織（企業、病院、社会福祉施設など）の「経営の質の改善」と「顧客満足の向上」を目的とした認証制度です。

各課や担当者で業務フロー図、手順書等を作成して、それを組織として標準化することにより、仕事の進め方のバラツキがなくなり、業務の効率化が図られ、事故防止にも効果があります。また、新採用職員、配置転換職員等の教育や人事異動に伴う業務引継等が短時間で正確に行えるようになります。さらに、フロー図や手順書の作成及び見直しを行うことにより、各課や担当者の業務整理ができるとともに、これらのマニュアルが組織の財産となります。

「利用者満足のさらなる向上」を目標に認証取得に向けて取り組んでまいります。

(事務局企画課長 井口 智)



中堅職員研修報告

TAセンター所長、野原弘氏をお招きし「今後のキャリアアップや現職における自分自身の見直し」をテーマに中堅職員研修を開催しました。

勤務年数四年以上の事務職、栄養士、看護師、PT、介護職員七十五名を対象として、三グループに分け、今回はその第一回目の開催となりました。

「組織の理解」や「組織・人・物事の関わり方」についての講義を交えながらグループワークを中心に研修は行われました。

効果的に業務を進めるコツや職場での人間関係・利用者との関係のあり方、そして、職場における望ましい各人の在り方を発見することで、どのような変化があるかということを実体験に基づいて認識していく内容となりました。

研修後、受講者の感想には「仕事の中で、流れを見ながらチームワークを大事に、相手を認め業務を行いたい」「職場、家族、身内への関わり方を今後真剣に考え、少しでもよい人間関係を築いていきたい」「職場を楽しくできるテクニックを少しでも活かしたい」など、建設的、且つ前向きな意見を多数頂くことができました。

野原先生の笑顔と熱意溢れる研修で、これまでの自分自身を見直す機会となり、各自のキャリアアップへの課題を見つける事ができたのではないかと思います。

(事務局企画課 宮城 貴子)



施設長リレーエッセイ



わたしの「つり」談義

漲水・あけぼの学園 園長 仲間 貞教

出勤すると「施設長リレーエッセイ」の執筆が依頼されたとの知らせである。私はどうしたものか考えた末、趣味の「つり」について書くことにする。私は、伊良部島佐良浜の出身である。宮古圏域の中でもっとも漁業の盛んな地域であり、昭和四十年代には南方鰹漁で栄えた地域でもある。現在も夏場のシーズンになると数隻の漁船がかつお漁を行い港は活気づく。因みに、今年は佐良浜に「かつお漁」が伝えられて一〇〇周年ということで、我が故郷では盛大なイベントが計画されている。せっかくなので私も参加したいと思う。さて、前置きが長くなりましたが、私は、漁師の子として生まれ育ちました。「つり」については遊びの中で島の先輩達から手ほどきを受けている。社会人となり福祉事業団での勤務（漲水学園）がスタートしたとき「つり」を趣味にするとは思いませんでした。勤務当初は、仕事への不安もあり先輩方の「つり」への誘いにもやる気が起こらずじまいであった。きっかけは、日勤勤務から当直勤務への変更である。休日ががらりと変わった。平日の週休が苦痛になってきたのです。「どうし

たものか」悩みました。遊び相手がないのです。そして、一人で週休を過ごせる遊びが「つり」となったのです。平日、人気のない海岸で自分の思い通りの場所で、思う存分「つり」の醍醐味を味わうことが出来るのです。最高の幸せです。ストレス解消、釣った魚を肴にアルコールを流し込む。これがまた至福のひととき、一石二鳥はこの事ではないでしょうか。家族からは見放された感はありませんが、単身赴任の経験もしております。「釣りバカ日誌」の浜ちゃんとは、いかなが、赴任先でも現地の釣り場を荒らしてしまったと思う。そして、独りよがりではあるが「つり」をとおして赴任先の職員との交流も楽しむことができ、単身赴任の寂しさを紛らわすことが出来たように思う。

現在は、つり同好会「魚海」の仲間達と自前の船を活用しグルクン釣りやサヨリ釣りと、釣りの成果を肴に酒を酌み交わしている。この生活習慣は私の人生の一部となった。今後も釣り仲間とともに「つり」談義に花を咲かせ人生を楽しんでいきたい。

ニユーフェイス紹介



重症心身障害児(者)施設 沖縄療育園
介護員 金城 浩敏

沖縄療育園に平成十七年五月、嘱託員として勤めて早四年。今年四月より正職員として採用して頂き、気持ち新たに充実した毎日を送っているところです。以前は全く畑違いの仕事に携わっていましたが、いろんな人との縁で福祉の世界に身を投じることとなりました。当初は慣れない業務に不安もありましたが、上司、先輩、同僚の皆さんに助けられ、なによりも利用者の方々とのおふれあいの中で大変貴重なことを学ばせて頂きました。これからも自己の知識、技術の向上に心がけ、利用者の方々が安心して生活できるように職員の方々と一緒に、日々頑張っていきたいと思えます。



児童養護施設 漲水学園
事務員 下里 亮

今年度、漲水・あけぼの学園で、正職員として採用になりました、事務員の下里です。

正直、福祉大学を出た自分が会計という仕事をするとは夢にも思いませんでした。一年目は、会計という業務が理解できていなくて、自分が何をしているかも分からず、日々混乱していました。それでも、優しい上司や前任者、諸先輩方に支えてもらい、何とか二年目を迎えています。まだまだ経験不足で至らない点も多々あると思いますが、精一杯努力していきますので、よろしくお願ひします。



知的障害者更生施設 北嶺学園
介護員 山入端 亨江

「沖縄療育園」に嘱託職員として採用されて二年。そして本年度正職員として採用され、「北嶺学園」に配属となりました。新たな環境の中で当初は、業務をこなすのに一杯で、一日があつという間に過ぎていきました。上司や同僚の方々・利用者のサポートのおかげで、少しずつ園生活にも慣れてきました。これからも、利用者の方々が快適な園生活を過ごすために、利用者のニーズにあつた支援ができるよう日々向上して仕事に取り組んでいきたいです。



身体障害者療護施設 都屋の里
看護師 諏訪 奈緒

都屋の里に入職して早四ヶ月が過ぎました。

先日、新人職員の研修会があり、理事長より事業団での理念・姿勢を正しく持ち業務にあたるよう講話がありました。施設での業務は慣れないことも多く、利用者様や先輩の職員の方々に指導してもらいながら毎日楽しく過ごしています。これからも頑張りますのでよろしくお願ひします。



養護・特養老人ホーム 宮古厚生園
介護員 分しほ 兼責任者 新城 綾子

施設での経験しかない私は、最初訪問介護の業務に戸惑いながらのスタートでした。職場の皆さんに支えられ、協力を頂きながら、今では日々楽しく仕事をしています。訪問介護は、在宅福祉の要ではないかと思つています。日々の仕事で常に心がけているのは、利用者の心に寄り添うということです。これからも利用者が住みなれた地域で過せるように、自立支援を念頭に支援していきたいと思えます。



養護・特養老人ホーム 名護厚生園
介護員 岸本 兼武

名護厚生園の嘱託員として採用されてからを含め、今年で三年目を迎えました。利用者と接する中で気付く事や学ぶ事が多く、周りの職員と協力しながら、日々支援の質の向上に努めています。

四月より事業団正職員として勤めることとなり、これまで以上に仕事に対して真剣に向き合い、向上心を忘れず、利用者の立場に立った支援を行えるよう頑張っていきたいと思えます。介護職員としてまだまだ至らない点もおおく、周囲に迷惑をかけることもあると思いますが、日々成長していけるよう努力していきたいと思えます。



養護・特養老人ホーム 具志川厚生園
介護員 上原 宗巳

具志川厚生園での嘱託員から含めて三年目の今年に、私は正職員採用と同時に結婚をする決意をしました。正職員採用で浮かれた私は、そのままの勢いでプロポーズをし、今年の七月に一家の大黒柱としてのポジションにつきました。一人前の人としても未熟な私が、今年からは職員としても成長すると同時に、大黒柱としても大きな器が持てる様に日々努力し利用者の方々の喜ぶ姿や新しく家族となる妻の応援に支えられ、また職場の仲間や先輩方の教えと支えにより立派な人になれるよう頑張っていきたいと思えます。



養護・特養老人ホーム 八重山厚生園
管理栄養士 比嘉 美記

この度、八重山厚生園に採用され早四ヶ月が過ぎました。これまで栄養士として様々な現場で働いて来ましたが、福祉の現場は初めてです。何もかもが一段のスタートで戸惑いと緊張の連続でしたが、職場の同僚の的確な助言や温かいサポート、入所者の「おいしかったよ」の一言に支えられ、毎日の業務に追われながらも少しずつ心に余裕も出てきました。食べる事は利用者の方々の皆様にとって大きな楽しみの一つです。そしてその食されている姿を拝見するのは、栄養士としての私の喜びの一つであり学ばる場でもあります。利用者の方々の皆様の食べる楽しみを生きます喜びにつなげるお手伝いが出来そうです。これからも頑張っていきたいと思えます。

新採用職員紹介

事務

局通信

新型インフルエンザ対策について

県内で新型インフルエンザの感染者が増加しております。

児童などの抵抗力の弱い人々が集団で生活を行っており、施設で新型インフルエンザが発生すると、感染が拡大しやすく、また、重症化することが予測されます。

一、入室時は手洗いと手指の消毒を十分に
二、マスクを着用する。
三、咳や発熱、体がだるい等の症状がある場合は訪問を中止する。

平成二十一年度機関紙刊行委員

- 編集委員 井口 智 (事務局)
副委員長 宮城 貴子 (事務局)
編集委員 平川 亜紀 (沖繩療育園)
大城美智代 (よみたん救護園)
多和田綾子 (うるま婦人寮)
吉野 泉美 (具志川厚生園)
兼島 章人 (瀬水学園)
島尻 正美 (あけぼの学園)
仲栄真麻美 (北嶺学園)
山内 克也 (都屋の里)
我那覇博明 (いしみな救護園)
新井 克紀 (八重山厚生園)
佐久田智代 (宮古厚生園)
上間由美子 (名護厚生園)

平成20年度事業実績 (主要事業等) 及び決算報告書

一、総括
平成二十年度は自主経営の三年目にあたり、「利用者本位のサービス」の質の向上、「経営基盤の強化と効率的・効果的経営」、「職員の資質の向上と意識改革」及び「地域に密着した新規事業の検討」を基本目標とし、施設経営に取り組みました。
①経営計画の推進
沖繩県社会福祉事業団経営計画の周知を図るため、全職員を対象に説明会を開催するとともに、着実に実施するため「経営五ヶ年計画実施推進プログラム」を策定しました。
②利用者本位の福祉サービスの充実
具志川厚生園において「介護と福祉の調査機関おきなわ」による第三者評価を受審しました。
③経営基盤の強化
人事労務管理の充実
第Ⅱ種介護職員として二十一名を選考採用しました。また、新体系移行に向けて訓練指導員等を配置しました。
④効率的・効果的な施設の経営
カードを利用したタイムレコーダーによる出退勤管理システムを全施設に導入して試行を開始しました。
経営指標の設定
稼働率等の経営指標を設定し、四半期毎に実績会議を開催し、確実な収入の確保に取り組みました。
職員研修
ビジネスマナー研修を全施設で実施するとともに、指導的職員研修や中間管理者研修等の階層別研修を実施しました。
地域に密着した新規事業の展開
在宅福祉事業の充実
宮古厚生園短期入所事業の利用者受入を平成二十年五月より開始しました。
⑦障害者自立支援法施行に伴う新体系への移行検討
北嶺学園 あけぼの学園は平成二十二年四月に、また、都屋の里は平成二十三年四月に新体系へ移行する方向で調整しました。さらに、県障害福祉課と意見交換会を実施しました。
イ、サービス管理責任者の養成
新体系移行時に新たに配置するサービス管理責任者の養成研修に各施設職員を指名して受講させました。
⑧広報活動の推進及び関係機関との連携強化
ア、広報活動の推進
事業団機関誌「紺碧沖繩」を九月、三月に発行しました。
イ、関係団体等との連携強化
各施設で納涼祭り、グラウンドゴルフ大会、囲碁大会等を開催して地域住民と交流を持ちました。

平成20年度 資金収支計算書

(自)平成20年4月1日 (至)平成21年3月31日

第1号様式

(単位:円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 經常活動による収支, 施設整備等による収支, 財務活動による収支, 予備費, and 当期資金収支差額合計.

平成20年度 事業活動収支計算書

(自)平成20年4月1日 (至)平成21年3月31日

第3号様式

(単位:円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 本年度決算, 前年度決算, 増減. Rows include 事業活動収入の部, 事業活動支出の部, 繰越活動収支差額の部, and 当期活動収支差額.

平成20年度 貸借対照表

平成21年3月31日現在

第5号様式

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 当年度末, 前年度末, 増減. Rows include 流動資産, 固定資産, 負債, and 純資産.

平成20年度財産目録

平成21年3月31日現在

第6号様式

(単位:円)

Table with 2 columns: 資産・負債の内訳, 金額. Rows include 1. 資産の部 (流動資産, 固定資産) and 2. 負債の部 (流動負債, 固定負債).

脚注 1. 減価償却費の累計額 478,353,752円
2. 沖縄県より譲渡された建物を基本財産建物で計上、及び国庫補助金特別積立金で計上した。
3. 購入した土地を基本財産土地で計上した。

芸術鑑賞に参加して

(救護施設 よみたん救護園 介護員 大城 秀夫)

去る六月四日に恩納村琉球村にあるチャンプルー劇場で琉球舞踊・芸能のステージを鑑賞して魅了されました。当園ではこの時期、選択行事として映画鑑賞・芸能鑑賞が企画されており



▲利用者の飛び入りの様子



今回、芸能鑑賞に参加された二十名の利用者・職員共々に楽しい一時を過ごしました。利用者のKさんは、エイサー鑑賞・三味線を弾いているのを観て感動して一緒に歌い、「最後の力チャーシーでみんな一緒に踊ったのがサイコーだった」と話されてました。会場での利用者の飛び入り参加もあり、普段見られない利用者の表情や行動も見られ楽しい有意義な芸能鑑賞でありました。

「化粧品ランテア」

(養護・特養老人ホーム) 名護厚生園 生活相談員 上間 由美子

平成二十一年六月十一日、化粧品会社マックスファクターのスタッフが化粧品ランテアとして来園し、女性限定で利用者(合計十名)を対象に化粧品をしていただきました。

参加した利用者は久しぶりのメイクに緊張した様子で顔が強ばっていました。ポランティアスタッフの声かけやリンパマッサージで徐々に緊張が和らぎ、笑顔がみられました。化粧品終了後には利用者全員が満足した表情で、鏡をのぞき込んでニッコリ微笑む姿が印象的でした。メイク終了後、華のある美人揃いの記念写真を撮り、閉会しました。

その日は梅雨時期で大雨にも関わらず、遠方から北部まで来てくれたマックスファクターのスタッフに感謝します。



遠遊会

(養護・特養老人ホーム) 具志川厚生園 生活相談員 崎原 愛

五月下旬から六月にかけて、具志川厚生園では毎年遠遊会を行っています。

今回は、雨にも降られ一回はジャスコでのショッピングとなりましたが、他二回は園近くの宇堅ビーチへと行くことができました。普段なかなか外出することも難しくなってきた利用者さんも海風を楽しみ、お弁当を囲みながらポランティアさん、御家族と会話を弾ませワイワイと和やかな一時を過ごすことができました。

「今日は良い事があつた。ありがとう。」という利用者さんの声を励みに外出支援も含め、生活に潤いを持たらすような支援に努めていきたいと思



浜下り

(養護・特養老人ホーム) 宮古厚生園 生活相談員 砂川 正司

「景色を楽しみ、浜辺を散策し心身のリフレッシュを図る」という目的の下に四月二十七日、浜下りを行いました。



当日、朝は若干寒かったのですがお昼に近づくに連れだんだんと暖かくなり、陽も照り始め絶好な浜下り日和となりました。

隣の漲水学園からもバスを借りて、さあ出発。目的地であるドイツ文化村には十一頃到着しました。文化村内の散策、近くの浜辺での水遊び、またパン食い競争やスイカ割りなどでは皆さん盛り上がりとても楽しそうでした。昼食は、園で作ったお弁当を美味しく頂きました。くつろいだ後、帰宅時間の午後二時となり各自、バスや乗用車に乗り込み帰路に着きました。

